

津有区 地域協議会 だより



発行：津有区地域協議会
令和7年1月25日 発行

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

今年も津有区の皆様にとって良い1年となりますよう心からお祈り申し上げます。

私たち地域協議会委員12名（新任10名・再任2名）の任期は、令和6年4月29日から令和10年4月28日までの4年間です。「自主的審議」を行うため、昨年は各委員の思い・まちづくりに関する考え方について、テーマを設けず自由に話し合いました。そして、自分の周りしか知らないことに気付かされました。

そこで、改めて津有区を回って見てきました。新年1月以降は、各町内会長の皆様からそれぞれの活動や課題などを具体的にお聴きしながら地域協議会としての「自主的審議」のテーマを見つけていきたいと思えます。

4年間という長丁場ですので、地域の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

津有区地域協議会
会長 中島 功



委員研修として、津有区を散策しました

令和6年11月23日（土）、委員研修の一環として、「津有区散策」を行いました。委員の目線で、地域の良さや魅力を再発見することを目的に、地区全体を半日かけて巡りました。

当日は、あいにくの雨でしたが、津有区の歴史など、普段津有区に住んでいてもあまり関わる機会のない場所に足を運び、お話を伺いました。これまで気付かなかった新たな一面を知ることができ、実りある研修となりました。

次のページでは、研修の様子を紹介します。

ご協力いただいた
津有地区の皆様、
ありがとうございました





前島記念館

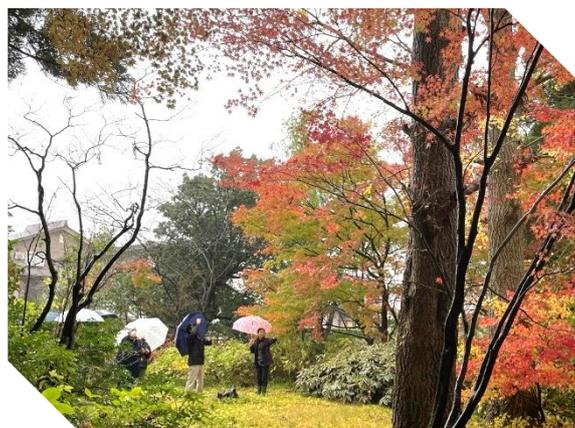
利根川館長から「郵便の父 前島密」について、お話を伺いました。

前島密翁は、郵便のみならず、鉄道業や新聞業などの様々な事業に取り組んでいました。特に、国民へ学問を広めるためには難しい漢字の使用をやめ、分かりやすいひらがなを使用すべきだという「^{かんじおほいし}漢字御廃止の儀^ぎ」に力を入れていたそうです。

新潟県立謙信公武道館

当日、1階の小道場では「東京2020ドイツ交流記念第40回上越柔道大会」が開催されており、ドイツのジュニアチームとの交流が行われていました。

老若男女問わず、様々な世代の方がご利用されている姿を実際に見学することができました。



保阪邸

ご当主の保阪洋子様のお話を伺いながら、庭園を見学しました。

近世中期以降の新潟県内屈指の豪農であり、昭和19年の調査では、総耕地面積は約200万坪ほどあったそうです。

当日は、あいにくの雨でしたが、お庭の木々のもみじがしっとりとした雰囲気でとても素敵でした。

本覚坊

現在の地に本覚坊がある理由は、織田信長の越前への侵攻から逃れるため、上杉謙信を頼り、最終的に下野田へ移り住んだためと言われています（諸説あり）。

当日は、所蔵されている貴重な掛け軸や市指定文化財をたくさんご披露いただき、本覚坊の長い歴史に触れることができました。



地域協議会の開催状況はこちらからご覧いただけます。

▲ 地域協議会の活動状況

お問い合わせ先

上越市地域政策課 中部まちづくりセンター
(上越市木田 1-1-3 市役所第二庁舎 2階)
TEL 025-526-1690 / FAX 025-520-5852
E-mail chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

